

期限迫る！約10万円→0円！！

2025年3月31日まで

自己負担なし！

※2024年9月末までに一回目の接種が必要

対象者

- ★ 1997年4月2日～2008年4月1日生まれの女性  
かつ、過去にHPVワクチンの合計3回の接種を完了していない方
- ★ 東京都23区にお住まいの方  
東京都23区以外の方はお住まいの自治体へご確認ください。

# 子宮頸がん 予防 HPVワクチン キャッチアップ接種

どんな病気なの…？

子宮頸がんは、子宮の入り口にできるがんのこと。  
主にウイルスの感染が原因です。  
自覚症状がないまま進行するという特徴があります。  
また、子宮頸がん(上皮内がんを含む)は発症年齢の  
ピークが女性の出産年齢と重なります。  
子育て世代の母親が子どもを残して  
亡くなるケースもあることから  
「マザーキラー」とも呼ばれています。

「もっと知りたい 子宮頸がん予防」より引用

HPVワクチンを  
接種することで子宮頸がんの  
減少効果が証明されています。  
事前に感染予防のできる  
“がん”ですので、  
納得したうえでの予防接種を  
推奨いたします。

参考文献「日本産科婦人科学会 Part 3 HPV ワクチン最新情報」

ご予約・お問い合わせの方

窓口・電話



WEB

B館1階 地域健康相談室 [月～土 9:00～17:00]

03-3967-1181 (代表)  
※音声案内:「3」を選択

子宮頸がんについて  
もっと詳しく知りたい方



「みんなパピ！  
みんなで知ろうHPVプロジェクト」

# 板橋中央総合病院 での流れ

予約  
窓口・電話・WEBにて  
ご予約できます。

予約日時に来院  
B館1階  
地域健康相談室の窓口へ  
直接お越しください。

医師による問診

予防接種



## 当日必要なもの

- ・予診票 お手元になく再発行をする場合は、お住まいの自治体にご相談ください。  
また、高校生以下の方は保護者の同意署名をご記入のうえご持参ください。
- ・承諾書 (高校生以下かつ保護者の同伴がない方)  
指定の用紙はございませんので、別紙にご記入のうえご持参ください。  
HPの承諾書はご自由にご使用ください。  
(・母子手帳 お持ちの方のみご持参ください。)

## 予防接種をする前に 理解しておきましょう

日本では毎年10,000人以上の女性が新たに子宮頸がんと診断されています。  
また、年間約2,900人の女性が子宮頸がん  
命を落としています。

.....  
セクシャルデビュー(初めての性交渉)の低年齢化などにより、日本では20~30代の上皮内がんを含めた子宮頸がん発症数は増加しています。特に2000年以降の増え方は顕著で、亡くなる方も増えています。

## 副反応について

HPVワクチンを接種した後に、熱が出たり、接種部位が腫れたり、しこりができたりすることがあります。  
これは、体の中でワクチン成分に対する反応が起こることによる症状で、通常は数日程度で治まります。  
長く続くなど、気になる症状がある場合は接種を受けた医療機関の医師に相談してください。  
まれですが、重い症状(重いアレルギー症状、神経系の症状)が起こることがあります。  
因果関係があるかどうか分からないものや、接種後短期間で回復した症状をふくめて、HPVワクチン接種後に生じた症状として報告があったのは、接種者10,000人あたり、約10人です。  
万が一、健康被害が生じた場合は、「予防接種健康被害救済制度」もしくは「医薬品副作用被害救済制度」の対象となります。